

平成31年4月 市長定例記者会見の要旨

■はじめに

平成31年4月1日付 昇任及び配置換等部長の紹介

■議題

1. 平成31年度のスタートにあたって

(1) 平成31年4月人事・組織

(2) キラリ！市政の動き

〔市長〕資料に基づき、概要説明（質疑なし）

2. 大型連休（10連休）期間中の対応

〔市長〕資料に基づき、概要説明（質疑なし）

3. 三井中央高等学校におけるデジタル人材育成プログラムの実施

〔市長〕（久留米市外三市町高等学校組合長として）資料に基づき、概要説明

〔記者〕授業はどれくらいのペースか。地域に出る授業か。

〔市長〕対面授業など6回を想定し、地域と交流もある。久留米商工会議所、久留米東部商工会との連携や地元中小企業の協力もある。農産物の販売などを電子商取引を使って実験的に行っていく。

〔記者〕eコマースはヤフーが指導するのか。

〔市長〕ヤフーが講師を派遣し、生徒はICTやeコマースを学び、就職に結びつける。中小企業の商品を情報発信していく。

〔記者〕学校側にもコーディネーターがいるのか。

〔教育長〕情報課を担当する教員がいる。これまでもイベントなどで、地域と生徒のつながりはあっているが、より活動の見える化を進めていきたい。

4. その他

(1) 「市制施行130周年記念式典」の開催

〔市長〕資料に基づき、概要説明（質疑なし）

(2) 学校会計に係る第三者による外部検証委員会の設置

〔市長〕資料に基づき、概要説明

〔記者〕委員会の設置は、いつ・どのようなメンバーでやるのか。

〔市長〕設置はこれからであるが、弁護士を委員長に、今月中には設置をして3ヶ月を

目処に、原因究明や再発防止策をお願いしたい。詳細は検討委員会にお願いする。

〔記者〕 16校の調査は、誰がどのように調査したのか。

〔市長〕 教育委員会で調べた。150万円以上が2件あり、入札や契約にも関わってくるものであり看過できない。

〔記者〕 学校は、過去にも外部監査で指摘を受けており体質では。

〔市長〕 外部の検証がきちんとできていなかったということである。市民の税金であり透明性が必要。治外法権は許されない。きちんと実態を究明し、再発防止をすることが重要である。体質や担当者の個別の問題ではない。

〔記者〕 150万円以上の契約は、カラー印刷機のリース料の契約か。

〔市長〕 別々の学校で、カラーコピー機のリース料の案件である。学校で対応できなければ、市がまとめて入札しそれを学校に渡すなど、何らかの対応が必要である。16校で24件の不適切処置があり、差し替え・預け金・不適正契約があった。消耗品を購入したのに備品など別の物に差し替わって納品されていた。業者と架空契約をし、支払い金を業者に預けて必要な時に使っていた。PTA会長と業者の契約が、市費で執行していたなどの実態があった。

〔記者〕 カラー印刷機は、不適正契約でもあり、差し替えでもあるのか。

〔市長〕 そうである。

〔記者〕 150万円を超えるとあるが、おおよそ金額・リース期間は。

〔市長〕 194万円である。リース期間は、これから外部委員会で調べる。

(3) 国道209号高良台歩道整備事業

〔市長〕 資料に基づき、概要説明

〔森副市長〕 この場所は、歩道もなく狭く、交通事故や渋滞が多発していた。歩道整備事業として国交省で採択してもらった。今後、具体的に事業が進められていく。鳥栖久留米道路・一丁田自歩道整備は、昨年度の約1.5倍の予算が付いた。また、諏訪野地区電線共同溝は新たに予算が付いた。(質疑なし)

(4) 筑後川水系山ノ井川浸水対策重点地域緊急事業

〔市長〕 資料に基づき、概要説明

〔森副市長〕 昨年の豪雨、平成24年7月の豪雨で浸水しており、昨年の豪雨の後、検討会でハード・ソフト一体となって整備していく必要があると議論された。県と市が連携して取り組み、堤防を嵩上げすることで、山ノ井川の氾濫を抑制するものである。

〔記者〕 堤防嵩上げ事業は、2023年までの期間か。区間は資料の朱書きのところか。

〔森副市長〕 この区間の中で、嵩上げすべきところをやっていく。

〔記者〕 全体計画の24億円には、堤防嵩上げ以外の事業も含まれるのか。

〔森副市長〕 基本的には堤防嵩上げであるが、ソフト対策として県の分担には、危機管理型

水位計の簡易監視カメラの設置も含まれている。

〔記者〕 嵩上げの高さは。

〔森副市長〕 氾濫させない高さになるであろう。

〔記者〕 緊急事業は、国の採択事業か。

〔森副市長〕 国の事業であり、昨年の秋頃「緊急点検」があり、今年度、国が新規事業として「浸水対策重点地域緊急事業」をやる。予算の仕組みとしては、国が新規事業を作り、実施は福岡県になる。平成31年度の事業費の6億2千万で、うち50%が国費で3億1千万となる。

〔記者〕 河川事務所ではなく、県土整備事務所がやるか。

〔森副市長〕 山ノ井川は県の管理である。河川事務所は筑後川を管理する。

〔記者〕 昨年の豪雨と同じ雨量なら、氾濫しないのか。

〔森副市長〕 どこまでの洪水に対して整備していくのかは、これから考えていかなければならない。

〔市長〕 国・県に対しても、昨年と同じ条件なら内水氾濫を起こさないようにと要望していく。

～予定議題 終了～

〔記者〕 県知事選挙があっているが、新しい県知事に求めることは。

〔市長〕 久留米市にしっかり予算を持ってくる、政策に関して直接話しができる、また時間をとってくれる知事を望む。

〔記者〕 新元号「令和」について

〔市長〕 スマホのツイッターで見た。中国の古事や経典ではなく「万葉集」からきており、日本人の伝統・文化に根ざした新元号ができ、新しい時代の象徴だと感じた。「令和」は、非常にかっこいい・使いやすいと思う。いい選択だったと思う。